

展示施設

「京のまちかど」 案内ボランティアさん紹介



Vol.2



中居 幸枝さん



このコーナーでは、京都市景観・まちづくりセンター1階にある展示施設「京のまちかど」で、展示案内をされているボランティアさんをインタビューにより紹介します。

今回は、平成16年から展示ボランティアを務めていただいて10年目となる中居幸枝さんです。



Q 中居さんは、どちらのご出身ですか？

石川県の金沢です。結婚を機に京都に来て、40年ほどになります。

Q 京都に来たときに感じたことは、どんなことでしたか？

京ことばがわかりませんでした。「これ、ほかしといて。」と言われても、「ほかすって?」、「ほかすは、ほかすやろ」、「……?」と、理解するのが大変でした。また、金沢は“武家社会”、京都は“民衆社会”と言われるそうですが、京都の人はまちを良くするために自分たちで考え行動します。そういう市民のパワーに驚きました。

Q 展示ボランティアを始められたきっかけは？

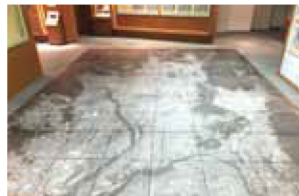
金沢出身であり京都のことがわからない。けれど、ボランティアをすることで「京都の裏側」を知ることができるのではないかと、思いボランティアの登録を申し込みました。

Q 中居さんが思う京都の魅力は？

金沢に住んでいるときからずっとお茶をやっています。所作や流れは同じなのですが、お茶と合わせて出すお菓子に違いがあります。例えば金沢では、桜の季節には桜の花びらを模したお菓子が出てきますが、京都では、一見桜の花びらとはわからないものが出てきます。見た目で直接的に表現するのではなく、連想させるのです。そういうところに京都の奥深さを感じますし、魅力だと思います。

Q 「京のまちかど」の展示でおススメするものは何ですか？

京都市の航空写真です。これだけ大きな写真はなかなかありません。見学に来た子どもたちは、自分の家を探したり、学校を探したり楽しみながら京都のことを知ることができます。ぜひ、一度お越しになってください。



「京都市の航空写真」